

単元名 につぼんのうた みんなのうた(4)

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070306_001

【教材名】春がきた（歌唱 共通教材）

(P. 54～P. 55)

【準備等】範唱CD，春の風景の絵や写真，映像，鍵盤ハーモニカ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「春がきた」（共）を、楽曲の気分にあふさわしい声で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 春の様子を思い浮かべ、「春がきた」の範唱を聴く。 ★ 春を むかえる 気もちになって 歌おう ○ 歌詞を読み、情景をつかむ。 <p>○ 聴唱法で主旋律を歌う。</p> <p>○ 声の出し方や曲の山に気を付けて歌う。</p> <p>○ 最後の小節を部分二部合唱にして歌う。</p> <p>○ 鍵盤ハーモニカで演奏する。</p> <p>○ 歌と鍵盤ハーモニカで演奏する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の情景や春が感じられる言葉を発表させることにより、曲に対する関心をもたせる。 ・ 対話しているような歌詞を生かし、2人で分担して朗読させ、その感じを歌に生かすように助言する。 <p>【評】曲想と歌詞とを関わらせて朗読する活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞唱に加え、階名唱を取り入れると、音程がつかみやすい。また、鍵盤ハーモニカの演奏に取りかかりやすい。 <p>【評】自分の歌声及び発音に気を付けて歌ったり、階名で歌ったりする活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「のにも～」の曲の盛り上がるころは、力を抜いて、柔らかい発声でたっぷり歌わせていく。「タン タタ タン タン」のリズムが何度も繰り返し出てきて、その音程がだんだん高くなることで、春に対する嬉しい気持ちの高まりを表していることに気付かせていく <p>【共通事項】旋律 リズム</p> <p>【評】旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にあふさわしい表現を工夫して歌う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手パートの声をよく聴くように助言する。 ・ 始めのソの音は3番（中指）から始めると弾きやすい。 ・ 列などでパートを分担し、交代して演奏させてもよい。 <p>【評】曲想を生かした表現に興味をもち、歌ったり楽器で演奏したりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】